



豊地まちづくり協議会だより

創刊号 平成24年8月1日

豊地まちづくり協議会事務局

TEL 42-4253

○創刊号に寄せて

本年3月18日に設立しました「豊地まちづくり協議会」の会員（1,290戸、3,506人）の皆様に各種行事の紹介や実施状況を中心に、「豊穰の地」として随時発行します。

「豊地まちづくり協議会」の活動方針は、これまで豊地自治会長会などを中心に運営されていきました主な行事＜地区民体育祭・豊地文化祭・慰霊祭など＞の継続実施に加え、会員の皆様方の提案等を含めた新しい行事・事業を豊地地区に関係する15の諸団体で構成する運営委員会で協議し、11地区の自治会から選出された50名の代議員で構成する総会で承認を受けて、ボランティア隊を含めた4つの専門部隊において具体的な推進を図る事とします。

今後とも会員の皆様方と一緒に、「住みよい豊地」「特色のある豊地」の実感できるよう、自主的な地域活動を進めますので、よろしくご指導・ご協力をお願いします。

○設立総会後の動き

5月27日 豊地自治会長会との共催により慰霊祭（平和を考える集い）

6月10日 第7回フオータッチバレー大会（体育委員会共催）

7月14日 運営委員会を開催し、各部隊長・副部長を選任し、細部について協議し、各部隊で責任をもって予算の執行と事業の推進を行っていくことを確認しました。

専門部隊名	部長	副部長	副部長
豊地もりあげ隊	松田正次	美川光雄	原田秀己
豊かな安心をかんがえ隊	赤塚良一	坂口高弘	居附康子
豊かな文化・教育をはぐくみ隊	中山 晃	前田 弘	田中 宏
豊かな心身をつくり隊	田中彬之	寺田元紀	

会計幹事に安保高志、佐々木利勝、事務局長に原田秀己、事務局員に中山 晃を任命した。

○松阪市「地域の元気応援事業」応募

「豊地の風土・体感事業」と題し＜豊地の川・土・風＞をテーマに公開プレゼンテーションに出場、審査の結果、採択され事業推進助成費25万円を獲得しました。

【川】・ゲンジボタルの里づくり

豊地を流れる清流を、昔のように沢山の蛍が飛び交う里にしよう。

初年度は、現状調査や勉強会から初め3年計画で地域づくりを行う。

【土】・田んぼでどろんこ体験

子どもたちに土の感触や香りを体感してもらい農業にも思いを寄せる大人になろう。8月18日（土）どろんこ体験を予定しています。勇者は集まれ！

【風】・絆を風にのせて(風揚げ大会)

各地域にある荒廃竹林の再生をめざして、整備し取り除いた竹を利用し、風を製作し、自治会対抗等の風揚げ大会を予定しています。

まちづくり協議会の新しい事業として、関係者みなさんのご協力をお願いいたします

○おおきんバス利用促進事業

回数券（鈴の音バスや他のコミバスでも使えます）を500円で販売します。

お一人2冊までで先着200冊の予定です。

各地区の自治会長さんに現金を添えて申し込むか、豊地公民館でも取り扱います。

コミバスの利用を促進していくことにより、三雲の「たけちゃんハートバス」ように豊地地区の全域を結ぶコミバスの実現を願っています。

○ 公民館入り口のバリアフリー化

これまで行政に申請していましたが、公共施設として当然のことなのに実現できませんでした、今回豊地まちづくりの事業として取り組んでいきます。

○慰霊祭(平和を考える会)

豊地自治会長会と豊地まちづくり協議会との共催で行うこととなり、祭主の追悼の言葉の中にも、今の平和に感謝するとともに存続することの大切さを述べられました。平和への願いを込めて殉国碑へ関係者による玉串奉奠をされました。

御霊の直接の肉親の方も少なくなり参加者が減少する中今後のありようを皆で考える機会にできればと思います。



事務局より

豊地自治会長会OBということで、事務局長を引き受けることとなりました。これまで自治会長会のもとに、各種委員会があり年間の事業が行われておりました。実に見事に運営されており基本的になんら変更の必要はないものと考えております。協議会の利点は事業等で活動された方に OB ボランティアとして継続的に力をお借りできること。もう1つは、ふるさと納税が住民協議会に直接交付される道が開かれたことです。豊地を出て各地で活躍されている方にふるさと「豊地まちづくり」にご協力頂けることができます。事務局としては事業の発展と新しい事業おこしを支援していきますので事務局員ともどもよろしく願います。

協議会だより「豊穰の地」を随時発行し、豊地地域住民の皆様のご理解とご協力を得たいと思います。「豊地公民館だより」にも、これまで通り情報の発信をお願いしています。